

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-506524(P2005-506524A)

【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2002-579991(P2002-579991)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/50	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/50	Z
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/04	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

血管新生応答を阻害する薬剤をスクリーニングするための方法であつて、

a)

i) 不活性なプロ形態または変換酵素により活性化された形態のインテグリン サブユニット、

i i) 血管新生を阻害する能力について試験される薬剤、および

i i i) 金属プロテアーゼM T I - M M P

を、インテグリン サブユニットの活性化が該薬剤の不在下で増加するような条件下に接

触させること、および

b) インテグリン サブユニット活性化の増加の阻害と血管新生を阻害する薬剤の能力とを関連付けることを含む方法。

【請求項 2】

前記関連付ける工程が、電気泳動またはクロマトグラフィーにおいて、サブユニットの不活性な形態の移動と活性化された形態の移動との差異を観察することによって行われる請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

M T I - M M P およびインテグリン サブユニットのプロ形態が同じ細胞内で組換えにより発現する請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記接触させる工程が細胞内で行われる請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記 サブユニットの活性化が前記 サブユニットのプロ形態の開裂によってなされる請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

前記 サブユニットの活性化が該 サブユニットのプロ形態のグリコシレーションにおける変化によってなされる請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

前記関連付ける工程が、レポーター遺伝子の使用および サブユニット活性化の増加の阻害の指標としてのレポーター遺伝子発現の産物の存在または非存在の検出を含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

血管新生が、少なくとも部分的に病因または永続因子である生理学的状態を患っている患者を処置するための、M T I - M M P 金属プロテアーゼによるインテグリン サブユニットの不活性なプロ形態または変換酵素により活性化された形態の活性化における増加を阻害することができる薬剤を含有する医薬組成物。

【請求項 9】

血管新生が、少なくとも部分的に病因または永続因子である生理学的状態を患っている患者を処置するための、₃、₄、₅、₆、₇、₈、₉、₂ b、_E および_v からなる群から選択される特定のインテグリン サブユニットのプロ形態の活性化を特異的に阻害する薬剤を含有する医薬組成物。

【請求項 10】

前記特定のインテグリン サブユニットが_v である請求項 9 記載の医薬組成物。